

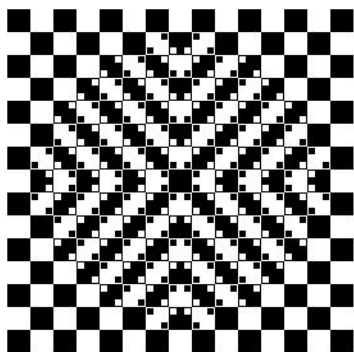
め さっかく ふ し ぎ 目の錯覚であら不思議!?

名張市立北中学校 西山 尚吾 松井 伊都子 加藤 創太

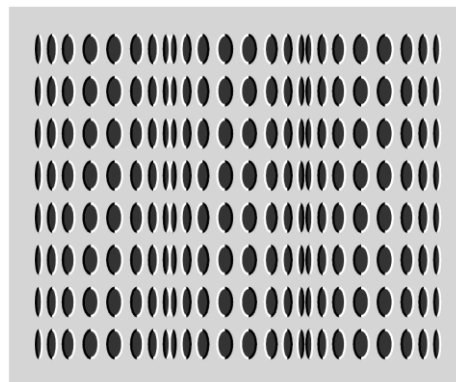
●錯覚とは？

「みなさんは物を見るとき、体のどの部分を使って見えていますか？」と質問すると、「目」と答える人が多いと思いますが、実は答えは「目と脳」なのです。目というカメラから取り入れた情報を脳というコンピューターを使って画像にしているのです。その時に、ある条件がそろそろコンピューターの判断がおかしくなっていて動いてないものが動いたり、まっすぐなものが曲がったりというように、実物とはちがって見えることがあります。それを錯覚といいます。

●とりあえず見てみましょう



まがって見えませんか？
すべて同じ大きさの正方形です。



じっと見てみましょう。
回転しているように見えませんか？

●工作をしてみましょう

もくもく入道雲(初級)

- ① うず巻きの図がかいてある厚紙をまるく切ります。
- ② 厚紙の真ん中にねじを通しコマをつくりましょう。
- ③ うず巻きコマをまわして15秒間コマをじっとみつめます。
- ④ 顔を上げて下の写真をみてみましょう。



首ふりドラゴン(上級)

- ① 画用紙を注意にしたがっていねいに切り取ります。
- ② 山折り、谷折りに気をつけて切りとった画用紙を折り、セロテープで固定します。
- ③ 片目を手でおおって見てみましょう。
- ④ ドラゴンを動かしてみましょう。



これ以外にもいろいろな錯覚があります。
インターネット等で調べてみましょう！